

* 利根川堤防拡幅工事と道の駅について

河田 晃明議員

・質問 国による利根川堤防の拡幅工事の進捗状況、今後の計画、移転する人たちのための新たなまちづくり構想、移転先のおっせん等について伺いたい。

・答弁(都市整備部長) 利根川堤防の拡幅工事は、四月二十二日に地元への事業概要説明会が終了し、現在、村君地区で地形測量を行っているところであり、その後、事業説明会、用地測量、物件調査を行い、平成十八年中には用地交渉を開始する予定である。

また、道の駅整備事業の構想、計画について併せて伺いたい。

また、本事業において集団移転は計画されていないことから、移転者のための新たなまちづくりは予定されていないが、現在の生活環境や利便性が損なわれないよう、国に働きかけていきたい。

移転先のおっせんについては、できる限り地権者本人に選定していただき、それを支援していくという考えであるが、市としても積極的に協力していきたいと考えている。

次に、道の駅整備事業について、当初、国でスーパー堤防の造成と水防ヘリポート、備蓄資材置き場の整備、県で簡易パーキング施設とトイレの整備、市で水防センターを兼ねた地域振興施設の整備を行う予定であったが、国で河川防災センターを建設するにあたり、その一部を市の地域振興施設として使用したかどうかという申出があり、国と協議をしている段階である。

道の駅の各施設整備は平成十八年度末までに完了する予定であり、平成十九年度より、

ある。

いては、当初、国でスーパー堤防の造成と水防ヘリポート、備蓄資材置き場の整備、県で簡易パーキング施設とトイレの整備、市で水防センターを兼ねた地域振興施設の整備を行う予定であったが、国で河川防災センターを建設するにあたり、その一部を市の地域振興施設として使用したかどうかという申出があり、国と協議をしている段階である。

プランを予定している。

その他の質問

・学力や学習態度の実態とその方策について

・食料・農業・農村基本計画について

* 利根川堤防拡幅工事とは利根川の破堤による被害を未然に防ぐために国土交通省で行っている事業で、平成十六年から十年間で、五霞町から深谷市までの利根川の堤防を拡幅し強化するもの

市・財政危機突破について

松本 敏夫議員

・質問 市の財政危機突破の方策として、市有財産の売却を積極的に行うべきと考えるが、見解を伺いたい。また、その他の具体的な対応策があれば伺いたい。

・答弁(市長)

現在、市で普通財産として管理している土地は、約二十

六万平方メートルあり、これらは、将来のまちづくりの活用用地、都市計画道路用地、公園あるいは市民生活施設のための用地として購入してきたものである。

しかし、バブル崩壊とともに所有している土地の利用計画を大幅に見直す必要が生じ

ため、五年前から土地利用検討委員会を組織し、土地の有効利用と売却を進めてきたところである。

平成十六年度には、用途廃止をした道路敷等五百八十九・六平方メートルを売却、本年度は、旧有線放送跡地千五十二・五八平方メートルを売却した。

現在、普通財産として管理している土地のうち、九十二%は何らかの形で有効利用している状況であり、残りの八%、約二万平方メートルが処

分可能な未利用地となつている。

旧小須賀市営住宅跡地、上岩瀬地内の警察官舎跡地、下村君隔離病舎跡地、旧商工会館、旧し尿処理場などがこれに含まれるが、このなかには、建物を建築する場合の道路要件が満たされていないため売却しても建物が建たない場所、既存の建物があり売却するための解体費用が膨大な額になる場所などがあり、全部の未利用地について、すぐに結論を出すのは難しいが、できる

限り売却できる場所は売却する方針で対応していきたい。

その他の質問

・羽生市の防犯ボランティアについて